



## 第3回登録文化財建造物保存・活用講座

# 座学「市民団体による保存活用の取り組み」

愛知登文会を設立して6年目となりました。この間の活動を通じて登録文化財の保存活用には所有者、専門家、行政、市民などが連携し取り組んでいくことが重要であることが改めて浮き彫りになってきました。

今回の講座では市民の立場で関わっておられる2つの事例についてお話を伺い、保存活用の方性について考えるとともに、保存活用に関わる方々の交流の場としていければと思います。

みなさんのご参加をお待ちします。



◆日時 2017年2月1日（水）14:00～17:00（受付13:45～）

◆会場 愛知県立大学サテライトキャンパス

名古屋市中村区名駅4丁目4-38 愛知県産業労働センター（ウィンクあいち15階）

<http://www.winc-aichi.jp/access/>

### ◆プログラム

開催時間	テーマと講演者
14:05～ 15:25  (休憩)	<p><b>(1) 有松地区における保存活用の取り組み</b></p> <p>講師：中村淑子氏（特定非営利活動法人コンソーシアム有松鳴海紋理事長）</p> <p>4大都市における街道沿いのまちなみとしては初めて重要伝統的建造物群保存地区に選定された「有松」において「染織文化」を継承・育成し「有松鳴海絞りの魅力」を発信したい!!と、2015年4月から活動を開始。 築100年以上の歴史的建造物の空き家をクラウドファンディングを用いて『有松鳴海絞りのライブラリカフェ』に再生する取り組みを進められています。</p> 
15:40～ 17:00  (休憩)	<p><b>(2) 中山道鶴沼宿における保存活用の取り組み</b></p> <p>講師：安田新作氏（中山道鶴沼宿まちづくりの会会長）</p> <p>平成16年6月に各務原市から鶴沼宿町並み再生の話が出て以来平成18年から23年まで5ヶ年間に及ぶ実際の再生工事に対する住民側の提案等市側との協業の経緯や地元として再生した田舎饅頭や木遣り音頭の話、平成19年3月の設立以来現在も続けておられるまちづくりの会の開催、脇本陣管理業務と中山道の美化清掃等についてお話いただきます。</p> <p>(写真出典：各務ヶ原市 HP 中山道鶴沼宿フォトギャラリー)</p> 

申込先：FAX 052-935-9592 愛知登文会 行【申込締切：1月27日（金）】

### 参加申込書

種別（○印を）	正会員	特別会員	賛助会員	その他
お名前			TEL	
所有文化財名 又は所属（企業名等）				

**愛知登文会事務局** 一般財団法人名古屋陶磁器会館内  
〒461-0025 名古屋市東区徳川一丁目10-3  
TEL (052)-935-7841 FAX (052)-935-9592  
E-mail [info@aichi-tobunkai.org](mailto:info@aichi-tobunkai.org)  
ホームページ <http://www.aichi-tobunkai.org/>  
フェイスブック <https://www.facebook.com/aichi.tobunkai>

◇主催  
愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会

◇助成  
文化庁「文化遺産を活かした地域活性化事業」

